事業所名		放課後等デイサービスみつばち		公表日		令和7年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	外遊びのグループと室内遊びのグループに分かれて活動することがある。	・室内、外遊びのスペースを分けて遊ぶ工夫はされているが部屋が少ない。・部屋が少ない・クールダウンできる個室スペースがあると良い。・スペース的には良いが、個別に良い支援ができるスペースを確保できない。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	個々の対応が難しい場合は、集団での活動を行い対応する。	・ぎりぎりの人数である。 ・職員が突発的に休むと難しい場合がある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	・パーティションで仕切ることができる。 ・室内の段差はない。	個室の必要性を感じている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	6	日当たりが悪いため、常に換気をしている。	・奥の部屋の壁はカビがある ・奥の部屋はカビ。環境に良くない ・定期的にメンテナンスをしたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	・個室はないのでパーティションやカーテンを使用している。 ・児発の部屋が空いている時は使用可。	・個室はない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員会議と支援前打合せと申し送りノートで情報共有している。	会議に参加できなかった職員には記録を確認してもらう。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎年行っている。たくさんのご意見をいただき感謝しています。	・すぐに取り組めるものに関しては早急に対応。 ・改善に向けて努力していく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員会議と毎日の申し送りの中で意見できる場がある。	改善できるところはどんどんしていきたい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	外部評価は行っていない。	今後、検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部研修のお知らせはしている。事業所内の研修は年間計画を作っていく。	研修は開催する機会はあるものの人数確保、日々の日課等で研修確保の日程が難しい。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	作成している。今年度内に法人HPに公表する。	・よく分かりません。 ・職員全員で取り組んでいく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	面談時に聞き取りを行い、職員間で確認をしたうえで、計画の作成をしている。	相談事業所との連携をもっとしたい。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	ニーズに沿った計画を作成し、実現に向けてどのように支援したらよいか検討している。	話し合いに参加できない職員への共有が課題である。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	計画の共有はしている。職員の配置人数によっては、活動内容を変更している。	職員が不足している時は、計画通りの支援ができないこともある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	放デイ以外での過ごし方を面談時に聞いて支援の参考にしている。	関係機関と情報共有していく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3	必要な項目、具体的な支援は設定している。	今年度からの変更となったため、各支援のねらいを理解し支援に繋げていきたい。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	5	明確なプログラムはないが、職員間で活動についての話し合いはしている。	支援プログラムを意識した活動を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	5	今年度は障害の特性やレベルに応じて小グループを形成し活動を行ってきた。	活動のバリエーションを増やしていきたい。自閉症やダウン症の子にとっては、ある程度、固定化しての方が良い場合もある。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	5	小集団のグループを作って活動することも ある。	・個別の活動が多い。メンバーによるが集団活動できる 曜日を作りたい。 ・職員状況により活動が変更となることがある。職員 不足の解消が急務である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	支援開始前には送迎の配車や職員の動きを確認 している。	打合せは時間が限られているので、効率よく 行いたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	勤務終了時間が職員によって違うため、その 日にはできていない。申し送りノートを使用 して全職員に周知するよう努めている。	情報の共有は大事にしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	6	0	複数の職員が記録を残している。	支援の検証・改善は会議や打ち合わせの中で 行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	6カ月に1回保護者と面談を行い、計画の見直 しをしている。	職員間でもっと話し合う機会を作っていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	4	2	お子さんが主体であることを意識している。	地域との交流を図っていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	3	おやつや個別の活動では、選択してもらい機 会を設けている。	写真や絵カードを提示して、選択してもら うことができればよい。
関係機 関や保 護者 との連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	放デイ連絡会や学校との面談には精通してい る職員が参加している。	定期的な開催を継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	学校、行政、相談事業所、他事業所等で行わ れる会議に参加し情報共有している。	多職種連携をしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	6	0	学校からお便りや電話、メールをいただいて 確認している。	継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	センター内のお子さんに関しては情報共有で きている。	支援が途切れないように、時には見学をさせ ていただくなどして、情報共有をする必要が ある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	4	2	法人内の施設に移行の場合は情報提供がしや すい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてス ーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	関係機関との連携はしている。	研修には積極的に参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	1	5	地域のイベントに参加することはある。	他事業所との交流の場を作っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	放デイ連絡会に参加している。	今後も継続して参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時やお迎え時に様子を伝えている。	保護者に見学してもらい機会を作りたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	2	4	家族が参加できる研修を企画したことがな い。	来年度は企画をしたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	5	1	契約時に行っている。	支援プログラムについては今後説明をしてい く。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こ どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時に行っている。	信頼関係を築いていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	面談時に説明を行い、同意を得ている。	丁寧な説明をしていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて面談の場を設けている。	ご家族やお子さんの気持ちに寄り添ってい く。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会の機会は設けていない。	研修と組み合わせた保護者会を検討していきます。皆さまからもご意見をいただければと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に対応している。	誠実に対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月お便りを発行している。	防災訓練等を実施した時は、号外等で訓練の様子を伝えていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	十分留意している。	今後も取り扱いには気をつけていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	伝わりやすい方法や伝え方には配慮している。	場面に応じて伝え方の配慮が必要である。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	行えていない。	地域交流の活動を意識していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	策定している。感染症に対する意識は高い。	周知が不十分などところがあるため、お便りの号外等でお知らせしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	策定している。地震や火事を想定した訓練は行っている。	年間計画を作成し決められた回数以上の訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	服薬情報をいただいて確認している。	必要に応じて医師の指示書をいただく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	現在、該当するお子さんはいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	職員個々の視点から危ない場所や物に気づき、安全にお子さんをお預かりできるよう努めている。	定期的に計画の修正・見直しをしていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画は作成してある。	取り組んでいる内容をご家族に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	会議内で再発防止策を検討している。	今年度から事例集の作成をしてファイリングしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に2回研修の機会を確保している。	外部研修にも積極的に参加していきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束適正化研修を行っている。身体拘束を行うお子さんには保護者に説明し同意を得ている。	身体拘束をなるべくしない支援を検討していく。	